



TBS

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社TBSホールディングス 上場取引所 東
コード番号 9401 URL <https://www.tbsholdings.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）阿部 龍二郎
問合せ先責任者 （役職名）アカウントティングサービス局長 （氏名）小杉 尚 TEL 03-3746-1111
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月8日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	210,658	6.5	15,392	20.2	22,885	22.7	45,403	35.2
2025年3月期中間期	197,792	3.7	12,801	46.4	18,652	14.7	33,578	241.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 99,922百万円（－％） 2025年3月期中間期 △118,757百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	286.67	—
2025年3月期中間期	207.71	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,396,831	1,017,659	71.9
2025年3月期	1,296,125	949,232	72.2

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,003,858百万円 2025年3月期 935,712百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	27.00	—	41.00	68.00
2026年3月期	—	35.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	38.00	73.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	431,000	6.0	24,000	23.3	37,000	17.1	52,500	19.5	333.15

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社WACUL
株式会社ビコース

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	165,591,065 株	2025年3月期	165,591,065 株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	8,806,118 株	2025年3月期	5,579,278 株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	158,384,674 株	2025年3月期中間期	161,663,158 株

(注) 期末自己株式数には、株式付与ESOP信託が所有する当社株式 (2026年3月期中間期 3,349,848株、2025年3月期 3,399,682株) 及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式 (2026年3月期中間期 403,662株、2025年3月期 268,336株) が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、株式付与ESOP信託が所有する当社株式 (2026年3月期中間期 3,377,218株、2025年3月期中間期 3,430,169株) 及び役員向け株式交付信託が所有する当社株式 (2026年3月期中間期 324,286株、2025年3月期中間期 143,074株) を含めております。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(セグメント情報等の注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
3. 補足情報	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における我が国の経済は、緩やかに回復し、個人消費や設備投資には持ち直しの動きがみられます。雇用や所得環境の改善による景気回復が期待される反面、物価上昇による消費者マインドや、アメリカの通商政策の影響による景気の下振れ、金融資本市場の変動が及ぼす影響等に、留意する必要があります。

このような状況の下、当中間連結会計期間における当社グループの連結売上高は、(株)TBSテレビの広告収入の増収や配信広告収入の伸長に加え、やる気スイッチグループでの増収等により、2,106億5千8百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、1,952億6千6百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

この結果、営業利益は153億9千2百万円(前年同期比20.2%増)となりました。経常利益は228億8千5百万円(同22.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は投資有価証券売却益の増加等もあり454億3百万円(同35.2%増)となりました。

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当中間連結会計期間の売上高は1,550億8千8百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は96億7千4百万円(同56.0%増)となりました。

(株)TBSテレビのテレビ部門の当中間連結会計期間の売上高につきましては、放送収入が前年を上回ったこと、配信広告収入が引き続き好調なこと等により、108億6千8百万円増収の1,116億8千1百万円(前年同期比10.8%増)となりました。このうち、タイム収入は、「東京2025世界陸上」の貢献等により、60億8千4百万円増収の460億8千6百万円(同15.2%増)となりました。スポット収入は、シェアの伸長等により、34億9千5百万円増収の413億1千万円(同9.2%増)となりました。配信広告収入は、引き続きTVerを中心に好調で、63億2千2百万円(同44.9%増)となりました。一方、有料配信収入は、海外配信の作品数の差等により、53億3千1百万円(同8.5%減)となりました。

(株)TBSテレビの事業部門の当中間連結会計期間の売上高は、13億7千1百万円増収の97億1千6百万円(前年同期比16.4%増)となりました。劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～南海ミッション」の大ヒット、同社が幹事として製作した初めてのオリジナルアニメ映画「たべっ子どうぶつ THE MOVIE」の公開に加え、前年の公開映画の二次利用収入の好調等が要因です。

(株)TBSラジオは、デジタル音声収入が堅調に推移する中、タイム収入が減少したこと等により、1千6百万円減収の40億7千7百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

(株)BS-TBSは、ショッピングが伸長したものの、スポット収入の減少により、3千9百万円減収の83億6千3百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

(株)TBSグロウディアは、ショッピング収入の減少等により、8億8千7百万円減収の144億2千3百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

(株)日音は、邦楽収入の増加等により、3億4百万円増収の47億4千5百万円(前年同期比6.9%増)となりました。

TCエンタテインメント(株)は、DVD販売の減少等により、1千4百万円減収の29億6千7百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

この結果、同セグメントにおける営業利益は、34億7千4百万円増益となる96億7千4百万円(前年同期比56.0%増)となりました。

◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当中間連結会計期間の売上高は、471億1千1百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は16億8千4百万円(同30.6%減)の減収減益となりました。

スタイリングライフグループでは、中核の雑貨小売販売事業の「プラザスタイルカンパニー」は、気温上昇に対応した暑さ対策商材及びキャラクター商材が伸長したこと等により増収も、人件費の増加や出店費用等が先行し、減益となりました。

ビューティ&ウェルネス事業は、化粧品の開発・製造・販売を行っている「BCLカンパニー」の主力商品の「サボリーノ」や、「乾燥さん」が伸長したこと等により増収も、認知度強化に向けた販売促進費の増加等もあり、減益となりました。また、前連結会計年度に(株)ライトアップショッピングクラブを連結範囲から除外した影響もあり、スタイリングライフグループ全体では、減収減益となりました。

やる気スイッチグループは、個別指導塾事業及び幼児教育他事業を展開しており、教室数及び生徒数が堅調に推移したこと等により増収となりましたが、人件費の増加等により、減益となりました。

◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当中間連結会計期間の売上高は、前年並みの84億5千7百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は1億3千9百万円減益の40億3千4百万円（同3.3%減）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当中間連結会計期間における資産合計は1兆3,968億3千1百万円で、前連結会計年度末に比べて1,007億6百万円の増加となりました。保有する株式の含み益の増加により投資有価証券が745億4百万円増加したことに加え、現金及び預金が投資有価証券の売却等により105億7千3百万円増加したこと等によります。

(負債)

負債合計は3,791億7千2百万円で、前連結会計年度末に比べて322億7千9百万円の増加となりました。保有する株式の含み益の増加等に伴い繰延税金負債が246億9千6百万円増加したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は1兆176億5千9百万円で、前連結会計年度末に比べて684億2千7百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する中間純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き386億9千万円増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が543億4千7百万円増加したこと等によります。

この結果、自己資本比率は71.9%、1株当たりの純資産は6,402円78銭となっております。

(連結キャッシュ・フロー計算書に関する定性的情報)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は851億5千1百万円で、前連結会計年度末に比べて105億7千3百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億4千6百万円の収入となりました（前年同期は82億6千8百万円の収入）。主な増額要因は、税金等調整前中間純利益694億5千6百万円等、一方、主な減額要因は、投資有価証券売却損益488億8千1百万円、法人税等の支払額202億4千5百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、414億7千万円の収入となりました（前年同期は175億8千4百万円の収入）。主な内訳は、投資有価証券の売却による収入537億9千7百万円、有形固定資産の取得による支出57億2百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、316億5千4百万円の支出となりました（前年同期は23億円の支出）。主な内訳は、自己株式の取得による支出257億4千7百万円、配当金の支払額67億9百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①2026年3月期の通期業績予想の修正について

2026年3月期の業績見通しにつきましては、当中間連結会計期間の業績における(株)TBSテレビでの「東京2025世界陸上」など放送収入の大幅な増収に加えて、第3四半期以降もスポット収入の好調などが継続すると想定し、連結全体で売上高、営業利益、経常利益が前回発表予想を上回る見通しです。

このような状況を勘案し、2025年9月26日の「特別利益(投資有価証券売却益)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を下記の通り修正させていただきます。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、想定される損失を織り込んだため、変更はありません。

連結業績予想数値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2025年9月26日)	百万円 425,000	百万円 21,500	百万円 34,500	百万円 52,500	円 銭 337.13
今回修正予想(B)	431,000	24,000	37,000	52,500	333.15
増減額(B-A)	6,000	2,500	2,500	—	—
増減率(%)	1.4	11.6	7.2	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	406,700	19,465	31,604	43,914	273.04

②2026年3月期の期末配当予想の修正について

当社は、認定放送持株会社として高い公共的使命を果たすとともに、将来の成長に資する事業投資や競争力ある事業展開を通じて企業価値及び株主価値の持続的な向上を目指すため、必要十分な株主資本を維持することを基本方針としております。

この方針のもと、配当につきましては、「TBS グループ 中期経営計画 2026」においては連結ベースの配当性向40%を目処に、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本としています。なお、特殊な要因で利益が大きく変動する場合等については、別途その影響を考慮して配当額を決定いたします。

2025年9月26日の「特別利益（投資有価証券売却益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました投資有価証券売却益、さらに一部の特別損失は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付けております。「特殊な要因」を除いた親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を上回る予想です。

上記の方針及び当社を取り巻く経営環境等を総合的に勘案し、中間配当については、1株当たり35円とすることとし、期末配当予想につきましては、前回予想から3円増配の1株当たり38円に修正いたします。これにより、年間配当予想は73円となり、前期実績と比較した場合5円の増配となる予定です。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2025年5月14日)	35円00銭	35円00銭	70円00銭
今回修正予想	—	38円00銭	73円00銭
当期実績	35円00銭	—	—
前期実績 (2025年3月期)	27円00銭	41円00銭	68円00銭

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,597	85,171
受取手形、売掛金及び契約資産	80,383	87,279
有価証券	30	—
商品及び製品	8,944	10,708
番組及び仕掛品	9,712	12,160
原材料及び貯蔵品	841	832
前払費用	20,171	23,224
その他	8,443	8,406
貸倒引当金	△166	△178
流動資産合計	202,958	227,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	224,733	226,202
減価償却累計額	△141,571	△143,691
建物及び構築物(純額)	83,162	82,511
機械装置及び運搬具	73,817	73,345
減価償却累計額	△66,794	△66,572
機械装置及び運搬具(純額)	7,023	6,773
工具、器具及び備品	19,933	20,614
減価償却累計額	△16,643	△17,055
工具、器具及び備品(純額)	3,290	3,559
土地	172,805	172,935
リース資産	1,579	1,529
減価償却累計額	△1,500	△1,468
リース資産(純額)	79	60
建設仮勘定	7,758	9,267
有形固定資産合計	274,118	275,107
無形固定資産		
ソフトウェア	6,879	6,914
のれん	21,523	22,096
その他	21,503	21,580
無形固定資産合計	49,906	50,592
投資その他の資産		
投資有価証券	756,458	830,962
長期貸付金	15	17
繰延税金資産	2,405	1,763
長期前払費用	378	334
その他	10,014	10,563
貸倒引当金	△130	△113
投資その他の資産合計	769,141	843,528
固定資産合計	1,093,167	1,169,227
資産合計	1,296,125	1,396,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,849	52,116
1年内返済予定の長期借入金	1,150	1,299
未払金	14,122	15,432
未払法人税等	19,122	22,811
未払消費税等	1,855	2,144
未払費用	2,220	1,806
賞与引当金	5,029	4,009
役員賞与引当金	14	6
その他	13,418	16,397
流動負債合計	109,782	116,023
固定負債		
長期借入金	12,727	13,549
退職給付に係る負債	14,507	14,136
株式給付引当金	3,841	3,993
リース債務	274	40
繰延税金負債	188,124	212,820
その他	17,634	18,609
固定負債合計	237,109	263,149
負債合計	346,892	379,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	24,747	17,438
利益剰余金	452,389	491,080
自己株式	△13,663	△30,889
株主資本合計	518,459	532,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416,276	470,624
繰延ヘッジ損益	15	20
為替換算調整勘定	367	178
退職給付に係る調整累計額	592	418
その他の包括利益累計額合計	417,252	471,242
非支配株主持分	13,520	13,800
純資産合計	949,232	1,017,659
負債純資産合計	1,296,125	1,396,831

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	197,792	210,658
売上原価	132,352	138,096
売上総利益	65,440	72,561
販売費及び一般管理費	52,639	57,169
営業利益	12,801	15,392
営業外収益		
受取利息	8	37
受取配当金	6,435	7,622
持分法による投資利益	—	472
その他	262	507
営業外収益合計	6,707	8,640
営業外費用		
支払利息	9	95
投資事業組合運用損	115	445
控除対象外消費税等	200	270
支払手数料	277	66
固定資産除却損	72	65
持分法による投資損失	67	—
その他	111	204
営業外費用合計	855	1,146
経常利益	18,652	22,885
特別利益		
投資有価証券売却益	32,560	48,881
関係会社株式売却益	2,532	—
特別利益合計	35,092	48,881
特別損失		
固定資産撤去費	481	1,716
事業整理損	—	581
減損損失	8	12
事業構造改善費用	268	—
投資有価証券評価損	148	—
投資有価証券売却損	62	—
特別損失合計	969	2,310
税金等調整前中間純利益	52,775	69,456
法人税、住民税及び事業税	17,377	22,973
法人税等調整額	490	554
法人税等合計	17,868	23,527
中間純利益	34,907	45,929
非支配株主に帰属する中間純利益	1,328	525
親会社株主に帰属する中間純利益	33,578	45,403

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	34,907	45,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153,525	54,273
繰延ヘッジ損益	—	11
為替換算調整勘定	92	△188
退職給付に係る調整額	△200	△170
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	66
その他の包括利益合計	△153,664	53,992
中間包括利益	△118,757	99,922
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△120,050	99,393
非支配株主に係る中間包括利益	1,293	528

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	52,775	69,456
減価償却費	7,258	7,337
長期前払費用償却額	25	26
減損損失	8	12
のれん償却額	1,428	1,573
投資有価証券評価損益 (△は益)	148	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△32,498	△48,881
関係会社株式売却損益 (△は益)	△2,532	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△468	△1,041
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△497	△631
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	171	152
固定資産除却損	72	65
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	41	△6
受取利息及び受取配当金	△6,444	△7,660
支払利息	9	95
持分法による投資損益 (△は益)	67	△472
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,671	△6,435
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,153	△3,818
前払費用の増減額 (△は増加)	△3,671	△3,017
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,343	△787
その他	△2,565	4,567
小計	11,849	10,533
利息及び配当金の受取額	6,580	7,796
利息の支払額	△9	△95
法人税等の還付額	429	2,957
法人税等の支払額	△10,581	△20,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,268	946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,679	△5,702
有形固定資産の売却による収入	22	40
無形固定資産の取得による支出	△832	△1,766
投資有価証券の取得による支出	△1,288	△43
投資有価証券の売却による収入	34,606	53,797
関係会社株式の取得による支出	△149	△825
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△787	△2,778
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	4,008	—
その他	△314	△1,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	17,584	41,470
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,817	—
長期借入金の返済による支出	△200	△648
長期借入れによる収入	—	1,015
自己株式の取得による支出	△889	△25,747
自己株式の処分による収入	887	745
配当金の支払額	△3,633	△6,709
非支配株主への配当金の支払額	△238	△220
その他	△44	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,300	△31,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	△188
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	23,647	10,573
現金及び現金同等物の期首残高	43,698	74,577
現金及び現金同等物の中間期末残高	67,345	85,151

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	141,958	47,370	8,463	197,792	—	197,792
セグメント間の内部売上 高又は振替高	239	1	1,837	2,077	△2,077	—
計	142,197	47,372	10,300	199,870	△2,077	197,792
セグメント利益	6,199	2,426	4,173	12,800	0	12,801

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	155,088	47,111	8,457	210,658	—	210,658
セグメント間の内部売上 高又は振替高	342	2	1,959	2,304	△2,304	—
計	155,431	47,113	10,417	212,962	△2,304	210,658
セグメント利益	9,674	1,684	4,034	15,392	△0	15,392

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(株)TBSテレビ事業収入の内訳(第2四半期(中間期))

(単位:百万円)

区分	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	比較		前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	100,812	111,681	10,868	10.8	212,034
タイム	40,001	46,086	6,084	15.2	81,264
スポット	37,815	41,310	3,495	9.2	82,355
配信広告	4,363	6,322	1,958	44.9	12,048
有料配信	5,826	5,331	△495	△8.5	11,214
その他	12,804	12,629	△174	△1.4	25,150
事業	8,345	9,716	1,371	16.4	16,609
不動産	1,169	1,195	26	2.2	2,349
合計	110,327	122,593	12,266	11.1	230,992